

変化のスピードがより激しく、より一層先を見通すことが難しい時代を前提とした行財政運営へ

- これまでの右肩上がりの成長・拡大、そして、人口減少社会が到来した時期に比べ、**今後は本格的な人口減少社会に突入することが見込まれる。**
- 人口減少により、将来的には行政だけで行政サービスを維持することが困難になるほか、市の財政状況もより一層厳しさを増すなど、**「あれかこれか」を選択しなければならぬ厳しい未来が待ち受ける**ことが想定される。
- また、新型コロナウイルス感染症を契機とするデジタル化の加速により、社会変化のスピードがより激しくなったことで、**将来を見通すことの困難さは一層増してきている。**
- このような従来とは異なる社会情勢において、市民の豊かな生活を目指し、最適な市民サービスを実現していくためには、**社会変化の機微を察知するとともに、その変化に対し柔軟かつ迅速に対応できる行政であることが求められる。**
- また、**市民や民間企業等の多様な関係者との対話を通じて未来を選択していくことや、連携をより一層深化させることにより、新たな価値を生み出していくことが必要**である。

2040年を見据え目指す行財政運営の姿（第4次行財政推進大綱の基本理念）

市役所が変化に迅速かつしなやかに対応できる頼もしい組織となり、市民、企業等との連携により新たな価値を創造する、行財政運営の推進

①地域が持続的に発展していくために、市民協働・公民連携の推進により新たな価値を生み出している

市民、民間企業がより積極的にまちづくりに参画するとともに、行政が民間の経営的視点を持ち、市民や企業等と連携する場や関係性を構築することで、それぞれの役割・強みを活かし、新たな価値を生み出している。

（目指したい状態の具体例）

- ▶多様な主体との連携の促進に向け、多くの行政情報が積極的に公開されている。
- ▶市政に関心を持ち、まちづくりに参画するシチズンシップに富んだ市民が増え様々な場面で活躍している。
- ▶市民や企業・行政の連携がより一層進み、それぞれの強みを活かし多くの地域課題解決に取り組まれている。
- ▶民間企業との協働に向け、職員が民間企業を持つスピード感や経営感覚を吸収するとともに、円滑にコミュニケーションできるスキルを有している。
- ▶若者が地域を知り、関わる機会や仕組みができ、多くの若者が街づくりに参加するとともに、市への愛着が湧いている。

②長期的な展望に立ち、市民に最適な行政サービスを創出し続けるために、変化に迅速かつ、しなやかに対応できる頼もしい組織へと変化している

市役所が、DXによる業務プロセス改革を実施することや、行政組織内のビジョンに基づき、職員同士が組織の枠組みを超えて連携し、より高い当事者意識を持って業務に取り組むことができる人づくりを進めることで、変化に迅速に対応できる組織へと変貌を遂げている。

（目指したい状態の具体例）

- ▶行政のデジタル完結が実現し、市民が来庁することなく、様々な行政サービスを受用することができる。
- ▶職員がAIなどの創造的技術を使いこなし、庁内業務の多くがデジタルで完結するとともに、業務の生産性が向上している。
- ▶デジタル化により職員の働き方の多様性がより一層増すほか、組織の枠を超えた職員間の連携が多く生まれ、生産性や職員の就労満足度が向上している。
- ▶働きやすい職場環境や活力ある組織になることで、それを魅力に感じた有能な人材が多く市に入庁している。
- ▶職員一人ひとりが、データ等を活用し、利用者目線に立ったサービスの創出に取り組んでいる。

③戦略的な政策の展開や、市民ニーズに沿った行政サービスを提供し続けるために、健全な財政基盤を堅持している

総合計画に掲げるまちづくりの目標「世界に輝く静岡の実現」に向けた戦略的な政策展開や、市民や社会の要請に応えるための行政サービスを継続的かつ安定的に提供し続けるために、より一層弾力的な財政運営に取り組み、将来にわたって健全な財政基盤を堅持している。

（目指したい状態の具体例）

- ▶長期的な視点に立った財政運営により、健全な財政状況が維持されている。
- ▶時機を逸することなく、戦略的な政策展開のための財政出動がなされ、行政サービスが充実している。
- ▶地域経済の活性化に向けた投資により経済の好循環が生まれ、市の持続可能性が高まっている。
- ▶行政が所有する土地や建物といった資源が有効活用されているとともに、長寿命化や計画的な維持管理によって適正な状態が維持されている。
- ▶行政評価や事業の見直し等のワイズスペンディング（賢い支出）に向けた取組により、事業の改善が行われ、費用対効果の高い事業が展開されている。

第4次行財政改革推進大綱の基本方針

（1）人とつながる

市民、民間企業、周辺自治体などの多様な主体との連携をより一層進めるために、引き続きシチズンシップに富んだ人材を育成するとともに、連携推進に向けた仕組みの構築や積極的な情報発信に取り組む。

【取組のイメージ】

- ・「静岡シチズンカレッジこ・こ」による地域人材の養成
- ・若者が地域活動に参画できる基盤の充実
- ・連携推進に向けた窓口機能の設置
- ・民間視点を持ち伴走できる職員の育成
- ・積極的な行政情報の公開、情報発信



（2）仕事の仕組みを変える

従来からの課題解決や業務の質の向上に向け、行政DXを推進し、業務プロセス改革を実施するとともに、職員がライフステージに応じて柔軟に働くことができる環境の整備に取り組む。

【取組のイメージ】

- ・行政内部業務のデジタル完結の実現に向けた業務プロセス改革
- ・データの活用に向けた利用環境の整備
- ・職員のITスキル向上に向けた取組
- ・柔軟な働き方（リモートワーク等）の更なる推進



（3）人や組織が変わる

変化にしなやかな人材や組織づくりに向け、仕事の意義や自身・組織の役割を再認識する機会を創出し職員が当事者意識の一層の醸成を図るほか、変化する行政需要に対応できる組織運営や人材育成に取り組む。

【取組のイメージ】

- ・自身の役割を再認識する機会の提供
- ・行政需要に対応できる人材の育成（デジタル人材、その他専門性等）
- ・変化する行政需要に対応できる組織体制の整備
- ・職員の定年延長への対応



（4）財政基盤を堅持する

健全な財政状況を堅持するために、効率的な予算執行や新たな財源の確保など、より一層弾力的な財政運営に取り組むとともに、限られた資源の有効活用に取り組む。

【取組のイメージ】

- ・中長期的な視点に立った財源対策の実施
- ・企業版ふるさと納税等の推進
- ・アセットマネジメント基本方針に基づく公共施設の総資産量の適正化、長寿命化の推進、民間活力の導入
- ・公共施設の特性を活かした活用方法の検討
- ・役に立つ行政評価に向けた評価制度の見直し
- ・地方公営企業の経営改善